



毎月十五日発行
所大社社
像像像
宗宗宗
〒811-3305 福岡県宗像郡玄海町
電話 0940-62-1311(代)
http://www.munakata-taisha.or.jp/
定価 一年送料共 1000円

「みあれ祭」間近か

沖津宮御神霊迎え齋行 御座船に大島「海栄丸」



過ぎ去り、沖津宮御神霊を奉持しながら参道を神幸、御座船に奉安し沖ノ島を出航した。大島港で村民の出迎えを受け、中津宮へ入御し本殿で入御祭を齋行。沖津宮御神霊は本殿内陣に仮鎮座され、沖津宮御神霊迎え神事は滞りなく終了した。

十月一日中津宮・沖津宮御神霊は約四百隻の供奉船に守られて、辺津宮に入御され、一年に一度宗像三女神がお揃いになられ、秋季大祭が始まる。

今回の沖津宮御神霊迎え神事に御協力を戴きました大島漁協、沖・中両宮奉賛会々員、海洋神社奉賛会々員の皆様に厚く感謝申し上げます。

午前七時、太田宮司以下六人の神職が、筑前大島に渡島、夕刻五時より中津宮に於て、渡航安全祈願祭が、佐藤千里沖・中両宮奉賛会長、御座船「海栄丸」の船長中村隆氏、供奉船「大栄丸」の船長田志力男氏、奉賛会役員らが参列して齋行された。明けて十四日早朝、御座船「海栄丸」・供奉船「大栄丸」の二隻の船首に「波切り御整」をつけ、「国家鎮護・宗像大社」の大幟を立て、「御長手」と呼ばれる紅白の吹流しをつけ、さ



参列者全員直ちに海中で禊をし、沖津宮へ。午後十時

秋祭り交通規制のお知らせ
規制日時 10月1日~10月3日

| 凡例 | |
|-----|--------|
| ↑ ↓ | 駐車場出入口 |
| + | 歩行者用道路 |
| ⇄ | 一方通行 |
| ⊘ | 車両進入禁止 |
| ⊗ | 駐車禁止 |
| ④ ① | 指定方向外 |

正しシートベルトを費用しよう
マナーアップぶくおか
福岡県・市・町・村・自治区交通委員会

新世紀になうこの子にチャイルドシート
宗像警察署 TEL0940-36-1110 宗像大社 0940-62-1311

神具・装束
株式会社
井筒

福岡店 福岡市博多区東公園 一三三二(0945)
電話 福岡 094-511945(大)

本店 京都市下京区油小路六条北入 丁六〇八(823)
電話 京都 075-341334(代)四番
三四二一三四四

匠木の家の
総合建設業 株式会社 弘江組

事務所 〒811-3406 福岡県宗像市大字福元一〇二五
電話 〇九四〇-三二二五六七

神郡宗像に秋の到来を告げる、宗像大社秋祭の幕開けを飾る海上神幸。中世に行われていた「御長手神事(おんながてのしんじ)」を昭和三十七年に再興したもので、「御長手」とは「長妙(ながたか)」のこと。宗像の神の象徴として辺津宮に迎える祭事を行ったこと由来する。

古くは春夏秋冬と年四回行ったようであるが、現在は江戸期の例に倣って秋一回としている。

この神事を「みあれ祭」と称するのは、

神の御生れ(かみ鳥)を、十月一日午前九時半中津宮御神霊と共に神輿にお移りして、御座船に齋行。祈求する意味に加えて、この際宗像七浦の漁船その数約四百隻の漁師が、海上に集結。中・辺津宮の御座船を供奉しながら白波を蹴立ててパレードする様は圧巻。

九月

中旬、事前に中津宮(大島)に仮鎮座された沖津宮御神霊(沖ノ

みあれ祭

宗像護国神社戦没者慰霊祭「千灯明」が終戦記念日の八月十五日午後七時から玄海市、郡遺族会員、地元住民、育成会児童ら約二百人が参列し齋行された。

境内は地元元田島地区育成会の吉田雅国会長以下約二百名の清掃の後、約二頁以下の提灯と二百基の灯明が飾られ、宗像市・郡出身の戦没者二五七三柱の英霊を御慰める光の祭典の準備が整えられた。

夕刻の午後七時、神職四名奉仕の下祭典開始。

神前には、英霊の御霊を慰めるため特別に煙草、缶詰等が供えられお祓いの後、齋主が捧げられた郷土宗像の英霊に対し、感謝と追悼の意を表すと共に世界の平和、御遺族の平穩無事を祈念する祝詞を奏した。

祭典終了後、境内は地元元田島地区育成会児童らによる子供花火大会と田島区民の益踊り大会が催された。

また地元消防団の奉仕による露店も並び、真夏の夜空に子供達の歓声が響き渡った。

八月十五日は、終戦記念日であると共に盆の終わる日でもある。早く咲かせるためにはシード処理を日長が十二時間以下になるように毎日暗い所へ取り込んだり、真暗く遮光し続けると菊は日が短くなったと感じて蕾を作り早く咲く。反対に遅らせるには夜間電灯をつけて電照処理をする。また毎年の夏の終り頃の台風・晴雨・気温にも大きく左右される。いよいよ長年長期を迎えて各会長連長期の経験と仲間への指導の成果が三十二年目を迎える宗像大社の菊まつりを盛り上げる。

九月八日宗像大社にて宗像大社菊花会の役員会が開催された。この菊花会は個人会員は一人もなく団体会員で構成されている。九州・山口各県三十一団体約千余名の会員を擁する統合菊花愛好団体である。従って役員は各々の会の会長、副会長といった指導者の集まりでもある。これらの先方現在の最大関心事は菊花の開花調整である。会議終了後の懇話会でも「シーナード」の話を花が咲く。菊はキク科の宿根草で日長が十三時間以下になると花芽分化する短日植物で花芽分化後四十日余で開花することは一般的によく知られている。本年度の大会の審査日が十一月一日と決定したので、全ての出品者はこの日に合わせて満開の状態に仕上げた上賞をめぐす。早く咲かせるためにはシード処理を日長が十二時間以下になるように毎日暗い所へ取り込んだり、真暗く遮光し続けると菊は日が短くなったと感じて蕾を作り早く咲く。反対に遅らせるには夜間電灯をつけて電照処理をする。また毎年の夏の終り頃の台風・晴雨・気温にも大きく左右される。いよいよ長年長期を迎えて各会長連長期の経験と仲間への指導の成果が三十二年目を迎える宗像大社の菊まつりを盛り上げる。

お知らせ 「放生会絵画展」
放生会を奉祝して「放生会絵画展」を開催致します。

期間 …… 9月28日(土) ~ 10月20日(日)
時間 …… AM 9:00 ~ PM 4:00
場所 …… 祈願殿二階ロビー

芸術の秋、絵画に親しんでみてはいかがですか。

二五七三柱に捧げる
宗像護国神社千灯明

| 九月三十日(月) | |
|------------|-----------------|
| 午後五時 | 総社地主祭 |
| 午後六時 | 宵宮祭 |
| 十月一日(火) | |
| 午前八時三十分 | 中津宮出御祭 |
| 午前九時 | 辺津宮出御祭 |
| 午前九時三十分 | 大島港出御祭(みあれ祭) |
| 午前九時三十分 | 神湊港到着 |
| 午前十一時五十分 | 頓宮祭(雨天時は俵玄海魚市場) |
| 午前十二時二十分 | 頓宮御覽舞(陸上神幸) |
| 午前十二時四十分 | 辺津宮入御祭(大祭) |
| (主基地方風俗奉納) | |
| 十月二日(水) | |
| 午前八時 | 流鏝馬神事 |
| 午前十一時 | 大祭(氏子奉幣・翁舞奉納) |
| 午後二時 | 末社祭 |
| 十月三日(木) | |
| 午前十一時二十分 | 高宮祭 |
| 午前十二時四十分 | 大祭(浦安舞奉納) |
| 午後二時 | 宗像護国神社秋季大祭 |
| | 第二・第三宮祭 |
| | 献茶祭(南坊流川口社中) |

秋季大祭日程

九月三十日(月)
午後五時 総社地主祭
午後六時 宵宮祭

十月一日(火)
午前八時三十分 中津宮出御祭
午前九時 辺津宮出御祭
午前九時三十分 大島港出御祭(みあれ祭)
午前九時三十分 神湊港到着
午前十一時五十分 頓宮祭(雨天時は俵玄海魚市場)
午前十二時二十分 頓宮御覽舞(陸上神幸)
午前十二時四十分 辺津宮入御祭(大祭)
(主基地方風俗奉納)

十月二日(水)
午前八時 流鏝馬神事
午前十一時 大祭(氏子奉幣・翁舞奉納)
午後二時 末社祭

十月三日(木)
午前十一時二十分 高宮祭
午前十二時四十分 大祭(浦安舞奉納)
午後二時 宗像護国神社秋季大祭
第二・第三宮祭
献茶祭(南坊流川口社中)

九月八日宗像大社にて宗像大社菊花会の役員会が開催された。この菊花会は個人会員は一人もなく団体会員で構成されている。九州・山口各県三十一団体約千余名の会員を擁する統合菊花愛好団体である。従って役員は各々の会の会長、副会長といった指導者の集まりでもある。これらの先方現在の最大関心事は菊花の開花調整である。会議終了後の懇話会でも「シーナード」の話を花が咲く。菊はキク科の宿根草で日長が十三時間以下になると花芽分化する短日植物で花芽分化後四十日余で開花することは一般的によく知られている。本年度の大会の審査日が十一月一日と決定したので、全ての出品者はこの日に合わせて満開の状態に仕上げた上賞をめぐす。早く咲かせるためにはシード処理を日長が十二時間以下になるように毎日暗い所へ取り込んだり、真暗く遮光し続けると菊は日が短くなったと感じて蕾を作り早く咲く。反対に遅らせるには夜間電灯をつけて電照処理をする。また毎年の夏の終り頃の台風・晴雨・気温にも大きく左右される。いよいよ長年長期を迎えて各会長連長期の経験と仲間への指導の成果が三十二年目を迎える宗像大社の菊まつりを盛り上げる。



第六十四期

出光店主室教育宗像大社研修

紙面の都合で掲載が遅れておりました、第六十四期出光店主室教育宗像大社研修(五月十三〜十七日)の代表二名の感想文を掲載致します。



経理部 財務管理課 山本 昌弘

「鎮魂」という言葉の響きには様々な思いが巡ります。自然、将来そして激痛。五月十三日〜十七日の五日間研修をさせていただきました。白衣に白袴、足袋に草履と神職の格好をして様々な祭式に参加させていただきました。先輩から噂に聞く「鎮魂」はプログラムに三日間組み込まれていましたが、普段の行いが良いのか悪いのか天気に恵まれ三日間とも高宮において「鎮魂」を行うことができました。真つ暗な森の中の静座、東京で雑踏とネオンに囲まれている私にとっては何んとも言い難い体験でした。

ただ、不思議なことに耳に入ってくる鳥や虫の声、風の音には安らぎを覚え、自分そのものが自然だった気がしました。そして、家族のこと、職場のことなどが次々と浮かんで来ては感謝と反省を促しました。時間を止めて、振り返ることは過去の反省だけではなく、気持ちを醸成し明日への道程となすことに改めて気付きました。

今、時代は世紀も変わり、何を引き継ぎ、何を残していくのかを問われています。最も大切なことは全てが繋がっている。周りととの関係を断ち切り、「個」だけを求めるのであれば何も残りません。そういう風潮も見受けられますが、淋しい世界にならないよう自分自身で考え行動していきたいと思えます。いろいろと考えること、感じることでできた宗像大社での研修では、研修にあたりましては太田宮司をはじめ、雨の中同行し、全体のお世話を下さ

いました神職の皆様、そして美味しいお菓子、大島の方々、皆様様に感謝致します。ありがとうございました。

「高宮に」 言の葉は 風にささや 葉の声か 痛みのまへに 自然と語らう 和歌

「次世代(我が子へ)」 腰を曲げ 泥にまみ れて 植える苗 育つ たがねに つげるよ ろこび



北海道製油所 製油二課 直長 重村 明彦

出光興産(株)の教育の一環として、四月八日から出光店主室教育が四〇日間行われ、五月十二日までは千葉市の平川寮で班別研修を行い、五月十三日〜十七日まで宗像大社において、日本人の心のあ

り方を体験的に研修させていただいた。四泊五日という短い期間でしたが、神職さんと同じ生活を送ること、今までに経験したことのないことを経験し、有意義な時間を過ごすことができました。

五月十三日夕方、宗像大社に到着、夕食後に白衣・白袴に着替えるため「潔斎」。五月とはいまだ肌寒かったが、冷水をかぶった後は意外とほかほかし気持ちのいいものであった。

続いて、白衣・白袴の着付け。初めてのことであり、白袴の縫い目を破ったり、帯の巻き方・締め方が違っていたりで、悪戦苦闘の末、着ることが出来た。(破れた部分を縫って下さった巫女さんありがとうございました) 夜も更け、諸先輩方からとにかく苦しいと伝え聞かされた。「鎮魂」・両親・家族・職場、未来の事など、日頃ゆっくり考えることが無かった。現在は情報化社会であり、周りの影響を受け易く、自分というものを失いがちであるが、時には静かな場所ですっきり考えることの必要性を感じた。この日のために平川寮にて一週間、一日二〇分の正座の練習を行っていた。練習の甲斐あってか余裕であった。しかし、最初は時間が短かっただけで、最終日はすごく苦しかった。五月一日は筑前大島に渡り、沖津宮遙拝所で遙拝を行ったが、

あいにくの雨で沖ノ島は見えなかった。(何時かは、五月二十七日に沖津宮に参拝に行くぞと心に決めた)そして、中津宮の五月十五日月次祭に参列させて頂いた。私は研修生代表で神前に上がり、苦しい正座をすることができた。時間が過ぎ苦しくなった時、祭壇に目をやると鏡があり、

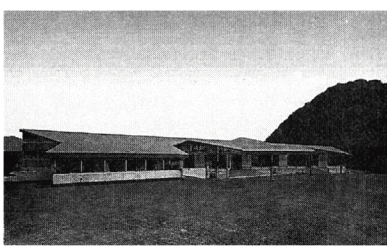
そこ同志の姿が映し出され、皆のために頑張らなければと、最後までやり抜くことが出来た。

最終日、四〇日間の研修を終え具体的な行動方針を決め、「神様」の前で決意表明を行った。「神様」に誓った以上、挫折することなく行動するよう努力していきたい。

人が現在運営している「ちどり保育園」(福岡市東区原田・園児数二〇〇人)の原田秀一園長、風の子保育園創設を支援する保育士・保護者・大学生ら「風の子保育園をつくる会」(会長 歯科医師・岡本高三郎氏)のメンバー十名が当大社を参拝し、神郡宗像の精神の中心である当大社について理解を深めた。「風の子保育園」は「玄海に子育てのひろばを」と、様々な分野のボランティアの協力を得て、地域に根ざし、自然豊かな中で伸び伸び育ってほしいという願いによって創設が決定した。一例にこの保育園はバスによる送迎をしないという。保護者が保育園まで足を運ぶ保育者と顔を合わせる。「我が子の様子」を直接に目にする。ことなどに力を入れる。連絡ノート

宗像大社の研修を通して、二千六百年の歴史がある日本に誇りを持ち、日本の文化・歴史を守り継承していかないといけないと感じた。最後に、太田宮司さんをはじめ宗像大社の皆様、筑前大島にて海幸を振舞って頂いた島民の皆様、研修中本当に有難うございました。

玄海町に新しい保育園



玄海町で新しい保育園の起工式が、当大社より約二キロ玄海中学校のすぐ横の玄海町江口で、八月十九日午前九時から斎行され、小林助海町村長、小村、田原副議長、住民福祉課、地元江口区長、神ノ原区長らが参列して、工事の安全祭を斎行した。正式名称は社会福祉法人 紅葉会「風の子保育園」(理事長 佐々木秀隆、施設長 成富清美)で、来年の一月に開園する予定である。九月十四日には、風の子保育園園長就任予定の成富清美氏、同法

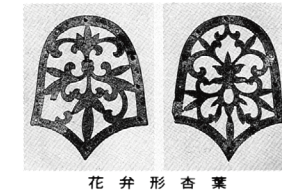
大社の神宝 ⑥ 杏葉各種

今月も前回に引き続き、当大社所蔵の杏葉各種を御紹介したい。沖ノ島の祭祀遺跡七号遺跡から出土した杏葉は前回取り上げた心葉形杏葉以外に次のような種類がある。



棘葉形杏葉

大小の二種類がある。長さは縦十三・四〜十五・五センチ、幅は十二センチ。いずれも下端部は五つに裂け棘(とげ)状の葉の形をしている。鉄地金銅張りの台板上に透彫飾板をのせ、その飾板の縁に十二個の花形文の銀を打ち留め合わせている。表面の飾り板は忍冬唐草文とみえる。外枠まで蔓茎とみえ、これから出る蔓と中央に配された主茎との組み合わせにより左右対称の構成をなしている。施回する蔓や掌状に開いた葉にさら文化を受容した初期の状況を示している。



花弁形杏葉

片が残存していることにより布地製品上に装着されたものとも考えられる。下端部は三方向に突き出しており、全体としては前述の棘葉形杏葉に類似している。個々の文様は微妙に異なるが、共に忍冬唐草文である。周囲の縁金には縁に沿って連点文を打ち、唐草についても四方伸びる各々の葉の形に合わせた連点文を沈刻し、文様を強調している。

忍冬唐草文とはパルメット唐草文に類する。このパルメット唐草文は藁草の葉を圖案化したもので、それは古代エジプトのロータス(蓮)文と前十三世紀頃のアッシュリアに認められるパルメット文の影響を受け、前六世紀のギリシアにて生み出された文様である。その後、同地において典型的な装飾意匠の一つになると共に、広く東西へと伝播し、その波は中央アジア・シルクロードを経て南北朝の中国に達し、そして朝鮮半島にまで影響を及ぼした。

従って、沖ノ島へ奉獻された杏葉をはじめ古墳出土の文物にみられる唐草文は、五世紀頃から始まった我国と大陸との交流の結果もたらされたもので、これは新しい装飾のモチーフであったのである。

従って、沖ノ島へ奉獻された杏葉をはじめ古墳出土の文物にみられる唐草文は、五世紀頃から始まった我国と大陸との交流の結果もたらされたもので、これは新しい装飾のモチーフであったのである。

第三十二回 西日本菊花大会開催要項

西日本を代表する菊花の祭典であり、菊つくり西日本一を決定する大会として全国的に知られる西日本菊花大会が、十一月一日から二十三日まで当大社境内に於いて開催される。

本年で三十二回目を迎える西日本菊花大会は、福岡県内はもとより九州・山口各県の代表的菊花製作者が丹精込めて育てた競花が一堂に介して競うもので、各地の愛菊家の注目を集める。

十一月一日、十一月二十三日、当大社境内に於いて理事等による大会を開催する。

十一月二十三日、当大社境内に於いて理事等による大会を開催する。



西日本菊花大会の開催要項

名称 第三十二回 西日本菊花大会

期日 十一月一日、十一月二十三日

表参式 十一月十七日

設置 十月二十一日

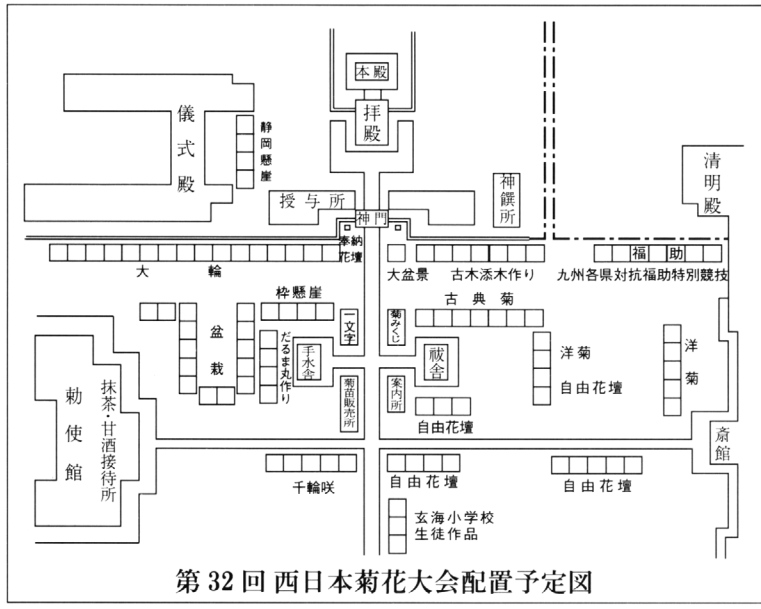
搬入 十月二十七日

搬出 十一月二十日

開催場所 宗像大社境内

開催者 宗像大社菊花会

代表者 宗像大社菊花会



第32回西日本菊花大会配置予定図

会長 高島茂人
 玄海町観光協会
 会長 吉武邦彦
 福岡県観光連盟
 福岡県農業協同組
 合中央会・九州旅
 客鉄道(株)・宗像
 郡玄海町・宗像農
 業協同組合

審査規定 予選は各地各会を本会理事がまわり、予選審査を行い優秀なものを本大会に出展させる。

審査基準 大輪盆栽(三〇点)花容・色彩(五〇点)調和(二〇点)計一〇〇点

盆裁盆栽(五〇点)花容・色彩(二〇点)調和(三〇点)計一〇〇点

懸崖盆栽(三〇点)花容・色彩(五〇点)調和(二〇点)計一〇〇点

審査員七名による採点で、上位四一点を選び出し、審査員の合議による比較審査で最優秀等賞(大早知事賞)を決定する。他の上位には優等賞を交付する。

審査員 福岡県農業総合試験場園芸研究所・所長小林泰生氏、同研究所野菜花き部・部長花木室室長坂井康弘氏、同主任技師・國武利浩氏、同研究員・黒柳直彦氏、福岡県花き専門技術員・谷川孝弘氏、福岡県花き園芸組合連合会・理事吉田徹生氏・宗像郡町村長会事務局長片山弘毅氏 以上

決断力 その時昭和の経営者たちは 出光興産株式会社 出光佐三店主

「ゼロからの再出発」① 瀧口凡夫

人が資本、敗戦で破産せず

太平洋戦争は一九四五年(昭和二十年)八月十五日、昭和天皇の玉音放送によって終わった。日本は米、英などの連合国に無条件降伏した。

広島、長崎は原爆によって壊滅し、東京をはじめ多くの都市が廃墟と化した。虚脱、崩壊感、一億総さんげなどのことは、多くの国民が何をしていたのか、茫然とわづらさず、茫然となった。

佐三の日記がある。十五日 正午、玉音を拝す。聴取器不調にして聖旨を知る能わなかった。

解説により、ようやく終戦の事実を知る。涙も出でず、ただ茫然たり。

十六日 瞑想に過ぐ。十七日 社員一同、宮城を拝す。次に左の訓示をなす。

「玉音を拝して」と題するガリ版刷りの訓示全文が残っている。私はこの際、店員諸君に三つのことを申し上げます。

一、愚痴をやめよ

二、世界無比の三千年の歴史を見直せ

三、そして今から建設にかかれ

(このあと)「愚痴は泣き声である、亡国の声である」と述べ、続いて「三千年の歴史」と、こんどの戦争の意義、再建に向けての覚悟、などを個別に解説している。

かなりの長文である。若いころ高山樗牛(明治の文豪)に心酔したことが、この文章の流石が流行した。

多くの国民が何をしていたのか、茫然とわづらさず、茫然となった。

佐三の日記がある。十五日 正午、玉音を拝す。聴取器不調にして聖旨を知る能わなかった。

解説により、ようやく終戦の事実を知る。涙も出でず、ただ茫然たり。

十六日 瞑想に過ぐ。十七日 社員一同、宮城を拝す。次に左の訓示をなす。

「玉音を拝して」と題するガリ版刷りの訓示全文が残っている。私はこの際、店員諸君に三つのことを申し上げます。

一、愚痴をやめよ

第四五回 宗像大社歌会詠草

大野展男 選

毎月25日、切

朝野 藤井 浩子
 パーゲンの折込みチラシに用はなく葉の広告念入りに見る

(評) 衣食住の衣食よりも健康が気になる年齢。それがこうすると例の瘦葉などの騒ぎとなる。御用心、御用心、時代を表わした作

名古屋 小田 留子
 我が家のカレンダー予定にしろする時には赤で時には青で

(評) 老人二人だけの生活で通院の日など忘れないようにしています。と添書きがあった

赤はご主人、青は作者自身の日かな。ちよっぴりユーモアがあり面白い。

城南ケ丘 中間日出子
 初の子に息子は本を買ひこんでやうやく名前を届出ます

(評) 名は体をあらわす、と言う。初めての吾子の健康と幸福にふさわしい名前を願う気持ちが祖母の目を通して素直に詠われている。

曲 大和美由紀
 またしても同じ話と思へどもそれにはふれず相槌を打つ

(評) 十年ぶりに会ひたる友と抱き合ひ名前うかはずかしくもせず、と詠う栗原ヒサさんは百六歳です。作者のような優しさ、栗原さんのおおらかさこそ高齢化社会へには必要であろう。

田野 森 づるの
 梅雨晴れを知らせるごとく田の面に蜻蛉は群れて低く飛び交ふ

(評) 異常気象の今年梅雨入りも梅雨明けもはっきりしなかった。でも小さな生物達は確実に季節の移りを知っているし、作者もまた小さな生き物のうごき季節を知るのである。

鐘崎 安永 久子
 スーパーに久々会ひて立ち話友の名うやく別れて浮かぶ

名古屋 小田 喜一
 戦後十九と標す奥津城に背丸めて老婆ぬかづく

大島 越智 治子
 灯台のあたりが静かに廻る夜鳥賊船の灯火つらなる

光岡 森田 房子
 皆さんと袋作りは楽しかりひとつの仕事手別けてする

福間 中村 勇
 桜島大噴火より八十八年熔岩に生えし松みなたくまし

田野 森 甲子
 水遣りに追はれたる日々よけふの雨に庭木も花もも潤ふ

日の里 石松 弘次
 ギリガニが缺かかけて構える捨て身のかまへに打ち込み難し

日の里 佐藤 純一
 吾れ婦宅甥と老母は駅にたち太き腕のぶ小さき身体

宗像大社歌会 俳句作品集 四七〇

東郷 田中 憲象
銀河濃しさだかな許斐
神神

光岡 井上 嘉治
盆踊り太鼓激しく鈴虫
黙す

日の里 花田いつ枝
秋麗や太初勾玉神玉館

東郷 吉武 湧泉
柚が家に訪れ早き秋の
蟬

東郷 吉田 杏子
悠々と驚遊ばせて青田
かな

東郷 田中 雨葉
出迎を燕にうけて無人
駅

東郷 三浦美千代
夕焼の炎の下の町の灯
よ

東郷 木原 房子
日を追ふて青田百町彩
深む



(続)

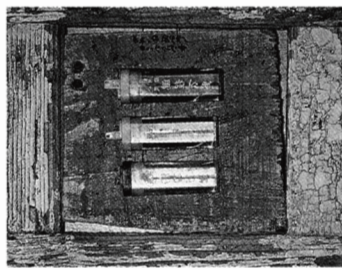
浜の寄物

170

いしいただし

人生も終わりに近く
なると、自然の石とか
植木、枯木、流木に執
着するという事を何か
の本で読んだことがあ
る。

この頃、私も海岸歩
きで、流木とか、石こ
ろに興味が出てきた。
漂着したものを机の
上に置いて、眺めてい
るだけで、あきがこな
いし、いつの間にか、
流木や石と話をしてい
る。若い時には見むき
もしなかったものであ



た。とうとう近くなっ
たのであろうか。
流木や枯木を加工し
たのであろうか。
器用さはないので、自
然なもの、そのま
ま置かれてある。
しかし拾って
きたものを接着
剤でくっつける
ことはしている。
拾ってくるも
の、なんでも
というわけでは
ない。

一、自然のも
の、加工がない
の、自然の流木、波
と砂と風に吹か
れる。削れるよう
なところがある。
自然の流木、波
と砂と風に吹か
れる。削れるよう
なところがある。

二、船板、ペンキが
塗ってあるもの、それ
が剥げたり、斑になっ
たりしている。特にペ
ンキの色は、赤、黄、
青色が残っているのが
いいが、これが減多に
ない。
先日、本の装丁家
ある毛利一氏が家
に見えられた時に、板
切れを見せたところ、
色といい、剥げ具合と
いい、そのまま装丁に
使えそうと話されてい

た。いい板切れを拾っ
た時には、それを壁に
かけているだけで、下
手な絵よりもよほどい
い。
九八年の長江大水
の時には、大量の中国
製品が漂着したが、そ
の中には建築材や家、
船の小窓などもあった。
窓わくに塗られたペン
キが剥がれ、剥がれ
ざれたものがある。
板切れにシールが
貼りつけたり、プラ
スチック製の中国ライ
スター(ライスターには四
字成語、縁起のよい文
字がある。例えば「帆
風順とか、万事如意等」
を貼ったりする。
シールは、ラム
ネやビール、化粧
ビンなどが割れて、海
に棄てられたり、川か
ら流れ出たものが、浜
に漂着している。特に
波打ち際の小石の溜
るところには多く見ら
れる。そんなところの
シールは、角もすつ
かりとれ、小さく、水
にぬれて、宝石のよう
に輝いている。シール
ラシラシでなく、青磁
や白磁や染付もありそ
んな破片も、こまめに
拾っておくとい。
シールは緑、青
茶褐色、白(砂に擦れ
て透明だったのが白色
となっている)が多い。
反対に、黄、赤色など
は少ない、ガラスビン
にはこの色が少ないか
らだ。

話題の新車紹介 ②6

日産「フェアレディZ」

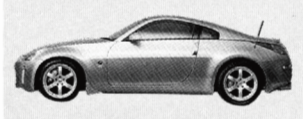
日産復活の象徴とし
て五代目となる「フェア
レディZ」が帰って
きました。
一、復活まで
四代目モデルが生産
中止になって以降、世
界中の熱烈なZファン
から復活の声が上がっ
ていました。ユーザー
だけでなく、日産の中
からも上が、ついには
アメリカ日産がシル

ビアをベースに作って
しまった程でした。そ
のモデルが評判になり、
日産も起爆剤を必要と
していたこともあり、
新型Zプロジェクトは
スタートしました。
二、デザイン

アメリカで爆発的に
売れ、日産の名を世界
に知らしめた初代Z
(S1300・一九六九年
デビュー)のロングノー
ズ&ショートデッキと
いうプロポーション、
そして躍動感あるキャ
ビンデザイン、イメー
ジを採用。誰もが一目
で魅了してしまうとい
う、Zならではの魅
力を放っています。
三、メカニズム

エンジンはV六の・
三五〇〇ccのNAで、
基本的にはスカイライ
ンに搭載されているも
のですが、全域で二八
〇馬力のパワーを発揮
し、Z専用チューニン
グが施されています。
高速ではまるで路面に
吸い付くかのような安
定感を得ることができ
ます。勿論、排ガス浄
化レベルは三ツ星を獲
得しています。
四、インテリア

全体をZの伝統であ
るフラックを基調とし
(一部グレートオレン
ジ)、シンプルで機能
的な配置で、これも初
代モデルをモチーフに
したものです。
五、グレード
全てにシート。ペー
シクな「フェアレディ
Z」、スポーティーな
装備の「バージョンス
ラグジュアリー」な「パ
ラドゥン」、そしてス
ポルティーな「バージョ
アリー」な「バージョ
ンST」の四タイプ。ミッ
ションは六速MTを全



この装備では驚きの
三〇〇〜三六〇万円と、
魅力的になっています。
初代モデルも価格の安
さでまず世界を唖然と
させました。
新生日産を象徴する
この五代目「フェアレ
ディZ」の新しい伝説
を、是非一度ご覧にお
越しください。
お問合せ先
宗像市丸四六一一
福岡日産自動車(株)宗像店
(〇九四〇)
三七一三九二三

お知らせ

天宮(あめのみや)神社(静岡岡周知郡森町
天宮鎮座)で大祭に奉納される十二段舞楽
(国指定重要無形民俗文化財)が、この度当
大社に奉納されます。
天宮神社は約一五〇〇年前の欽明天皇の
御代、当大社の御祭神(宗像三女神)を親請
したのが御由緒であり、今回元宮である当
大社への奉納となりました。
舞楽は今から約一三〇〇年程前の慶雲二
年(七〇五年)、京から藤原経俊が神職とし
て着任し、延舞、色香、庭胡蝶、鳥名、太
平楽、新舞、安摩、二の舞、陵王、抜頭、
納言利、獅子の十二段舞楽を奉納したのが
はじまりとされ、今回はその内の三段を奉
納されます。

神宗像 末社めぐり

二十六 四道福松明神
(諏訪神社)
宗像大社から県道九
十七号線(旧国道三号
線)に入り、福岡方面
に約十三キロ進むと、
近年人口の増加が著し
い福岡町の県道沿いの
右手に、
昭和五十
五年に御
造営され
まだ新し
く感じる
諏訪神社
の朱色の
生垣が目
に入る。
石階段
を上ると、
一〇二
坪の境内の正面に、ま
だ目新しい銅板葺造
五尺間三間社の本殿、
二間三間の拝殿、左手
には社務所、右手には
末社、相撲場と神輿庫、
奥には石祠の末社が鎮
座している。
御祭神は、建御名方
命・大己持命・少彦名
命。由緒は不詳とされ、
御縁起に百八社の一つ
として、高宮下符社の
うちに、「四道明神社」
とあり、「四道明神社」
と記されており、同一
神社であると思われる。
境内には、素盞鳴命
を祀り流行病退除のた
め鎮座さ
れたとあ
る須賀神
社、もと
は福岡浦
に鎮座し
ていた亀
山神社を
大正十三



年(この地に合祀、伊
弉諾命・伊弉那岐命・
国常立命を祀る産神社、
菅原神を祀る菅原社、
村中火難消除のため、
福岡浦に愛宕神社とし
て鎮座していたものを、
大正十五年合祀、加具
土命・軻具土神を祀る
秋葉神社の四社と、大
山津見神社、久留尊社、
辨財天社、稲荷社が鎮
座している。
正月三日には、福岡
海岸にて締め込み姿の
男たちが、諏訪神社ま
で、「木の玉」を競り合
い、約三百年の伝統を
持つ「玉せり」が有名
である。
往古を偲ぶ松林は、
はるか海岸線に少し残っ
ているだけで、現在は
福岡町の中心部からは
ど近く、小学校が隣接
し子供たちの元気の良い
声か境内に絶えず聞
こえる、町民の憩いの
場所となっている。

